

都市整備

問 都市計画は、人口増、インフラ整備、企業誘致など多くの関連事項があるが、今後の匠瑳市を考へて、計画の見直しが必要であると思ふが。

答 合併後の都市計画の見直しについて、昭和五十六年に吉田、豊和、飯高地区を都市計画区域に編入する見直しのため、都市計画区

合併事業

域の解析評価を行い、千葉県に申し入れを行いました。三地区には都市施設等具体的な整備、開発、保全の計画がないため、受け入れられません。合併により匠瑳市が誕生したため、交通機関の利用形態や商業活動等生活圏が一体となっている行政区域を一体都市として、整備、開発、保全する区域として、八日市場都市計画から匠瑳都市計画とする名称変更も含めて、見直しが必要であると考へています。

教育

問 市内の児童生徒の緊急連絡網について、以前、児童生徒の安全確保のため携帯電話のメールを利用した緊急連絡網を検討しては、と提案したが、その後どうなっているか。

答 市の児童生徒の緊急連絡網の方法について、すでに全国十二の教育委員会等で利用実績があり、無料でシステム運用ができる民間情報配信サービス「まちコミ」の導入を検討しています。

問 千葉県では学力テストの結果を公表していないが、結果を公表することも生徒や父兄の学力意欲向上の手立ての一つではないか。

答 千葉県の学力調査結果は、ほぼ全国水準と同じですが、一、文部科学省が市町村教育委員会は調査結果の公表を行わないこととしていること、二、調査結果の公表による学校の序列化や過度の競争、学力調査を過度に意識したゆがんだ教育の推進等の悪影響が予測されること、などの理由により公表していません。

学校教育課担当職員や小・中学校の職員によるメール送受信のテストを実施し、意見の聴取や課題の改善をしています。

今後、幼稚園、小・中学校の保護者等が利用しても問題が発生しないかを確認しながら、平成二十一年四月の導入を目指しています。

なお、結果の公表は行っていませんが、結果の活用については、学校での個別指導や授業の改善、教育委員会での施策の策定等に活かすよう努めています。



▲合併記念公園事業予定地（庁舎屋上から）

問 来年、再来年に計画されている（仮称）合併記念公園の建設は、事業として緊急性がない。事業の凍結を求める。

答 事業名を記念公園とは

しませんが、中央地区の住民の方々から「災害はいつ来るかわからない。避難所としても利用できる。なんとか市役所北側を開発してほしい」との陳情が数年前に出され、その陳情に基づき、市役所北側の開発に向けて努力してきました。この事業を中止または凍結するということになれば、開発を要望した住民の方々にとっての理解が難しくなると考へています。

健康

問 鳥インフルエンザについて、鳥から鳥への感染については、国からガイドラインが示されているが、人間の感染については、ガイドラインは示されているが、人の感染については、ガイドラインは示されていないか。

答 鳥インフルエンザについては、鳥から人へ、さらには人から人への感染、流行が懸念されており、厚生労働省が策定した新型インフ

ルエンザ行動計画を基に、千葉県においても新型インフルエンザ行動計画並びに新型インフルエンザ対応マニュアルを策定しました。それに基づき、海浜保健所管内においては、医師会や医療機関、市等を構成員とする新型インフルエンザ海浜地域医療委員会が平成二十年八月に設置されたところ

分があるか。

答 鳥インフルエンザについては、鳥から人へ、さらには人から人への感染、流行が懸念されており、厚生労働省が策定した新型インフ

ルエンザ行動計画を基に、千葉県においても新型インフルエンザ行動計画並びに新型インフルエンザ対応マニュアルを策定しました。それに基づき、海浜保健所管内においては、医師会や医療機関、市等を構成員とする新型インフルエンザ海浜地域医療委員会が平成二十年八月に設置されたところ

施設利用

問 勤労青少年ホームについて、年々利用者が増えているが、運動器具の老朽化や二階体育館の天井に近い窓の開閉のため、はしごを使わなければならない等課題がある。修繕・改修を進め、さらに充実した利用を図っては

答 勤労青少年ホームは、勤労者のためだけでなく、誰でも利用可能な施設です。ご指摘のように、立地条件等を考えるとさらに積極的な活用を図る必要があると考へます。市としては、施設の利

地域活性化

問 自分の住む地域以外の地方自治体に個人住民税の一部を寄付できる「ふるさと納税制度」は、自治体側から見れば地域活性化策として活用することができると考へています。そのための計画やアピールはどのようになっているか。

答 ふるさと納税制度に

ついては、ホームページでのPRを考へているところですが、ホームページには匠瑳市の魅力、まちづくりの取組み等のほか、市の観光大使である地井武勇さんからの応援メッセージ等も掲載するように考へています。また、PR用のチラシ

環境

問 地球温暖化防止に向けて、本市ではどのように取り組んでいるか。

答 温室効果ガス、特に二酸化炭素の削減に向け、「匠瑳市地球温暖化対策地域推進計画」を策定し、市民や市内事業者と連携し、実践的な取り組みを行っています。また、現在この計画に

先立ち、市役所内の温



暖化対策に向けた「匠瑳市地球温暖化防止実行計画」の策定を進めているところですが、市役所が事業者として果たすべき責任を明らかにする実行計画を策定することで、市民や事業者に対して環境保全への取り組みを誘導、喚起することになると考へています。

実行計画策定後は、速やかに広報やホームページ等で公表するとともに、職員に計画目標を達成させるため、継続的な取り組みを行っています。

を作成し、市外の方が多く訪れるふれあいパークやのさか望洋荘で配布することも考へています。なお、五千円を超える寄付をしていただいた方には、感謝の気持ちを表すために、礼状とともに市のPRを兼ねた農産物あるいは海産物の特産品を贈呈したいと考へています。

を行っているところですが、しかし、本施設は建設から三十年余り経過しており、維持管理問題、各部屋の間取りや高齢者には階段がきつい等の問題があります。

こうした問題を全体的なものとして捉え、さまざまな角度から十分論議し、本施設のあり方について検討を進めたいと考へています。